

令和3年度春日井市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農業は、温暖な気候や豊かな水等に恵まれ、水稲のほか、北部の丘陵地において、もも、ぶどう、かき等の果樹やサボテンが生産されている。しかしながら、近年は都市化の進展に伴う農家や農地の減少、農業従事者の高齢化、後継者の不足、主食用米の需要の減少等の課題を抱えている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、圃場整備によってまとまった農地が存在し、水稲の作付に適していることから、引き続き主食用米の生産に取り組む。直播栽培や多収品種導入による作期分散等の低コスト生産の取組を推進し、加工用米などの転換作物の作付面積の増加を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市の担い手の多くは水稲の作付を主としており、主食用米の生産は過不足なくできていることから、今後も水田としての集積・集約を進め現状を維持しながら効率的な生産及び収益向上を促す。

水田の利用状況については、7月～9月にかけて実施する水田台帳上の水田の現地調査により利用状況を点検する。点検の結果把握した集積・集約困難な狭小地、耕作放棄地において、高収益作物等を生産する畑地化を図るべく、農業者の育成・確保を進める。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米については、作付品種が「あいちのかおり」、「あさひの夢」に集約されており、地元作物の地産地消の取り組みとして、農協の営農生活センター及び産直施設での販売促進を図る。

(2) 備蓄米 該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米、イ 米粉用米、ウ 新市場開拓用米、エ WCS用稲 該当なし
オ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、主食用米の作付けから加工用米の作付けへと転換を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物 該当なし

(5) そば、なたね 該当なし

(6) 高収益作物

産地交付金を活用し、地域振興作物である野菜等の作付けを奨励する。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	220ha	207ha	206ha
備蓄米	-	-	-
飼料用米	-	-	-
米粉用米	-	-	-
新市場開拓用米	-	-	-
WCS用稲	-	-	-
加工用米	3ha	0.1ha	1ha
麦	-	-	-
大豆	-	-	-
飼料作物	-	-	-
・子実用とうもろこし	-	-	-
そば	-	-	-
なたね	-	-	-
高収益作物	-	-	-
・野菜	0.91ha	1ha	1.5ha
・花き・花木	-	-	-
・果樹	-	-	-
・その他の高収益作物	-	-	-
その他	-	-	-
・	-	-	-
畑地化	-	-	-

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	
1	高収益作物 (基幹作)	高収益作物支援	作付面積	(2年度) 0.91ha	(5年度) 1.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。